



奈良文化財研究所
Nara National Research Institute for Cultural Properties

記念特別展

奈良文化財研究所70周年・平城宮跡史跡指定100周年記念

のこった奇跡 のこした軌跡

— 未来につなぐ平城宮跡 —

平城宮跡歴史公園

平城宮いざない館

Nara Palace Site

Where Heritage Conservation Meets
Historic Preservation

2022 10/29(土) ~ 12/11(日)



のこった奇跡 のこした軌跡

— 未来につながる平城宮跡 —



平城宮第一次調査の出土遺物

本年は、奈良文化財研究所が設立されてから70年、さらに平城宮跡が史跡に指定されてから100年、特別史跡に指定されてから70年の「記念の年」にあたります。

史跡となった平城宮跡は、100年という歳月を経て大きくその姿を変え、現在を迎えています。奈良文化財研究所を中心にはじまった68年前の発掘調査をきっかけとして、それまで未知の世界であった1,300年前の地下の宮殿の姿が次第に明らかとなってきました。その成果をもとに史跡の指定地が拡大され、地下の遺跡がシェルターの中で公開されたり、往時の姿が地上に再現されたりしてきました。近年は、多くの人々が遺跡に親しむことができるようなイベント等を通じて、さまざまな活用が試みられています。まさに平城宮跡にとっては「激動の100年」であったと言えるでしょう。

史跡指定に向けて大きなうねりが生まれた明治・大正期から、第二次世界大戦直後に至るまでの平城宮跡にまつわる調査・公開、保存運動の歴史については、春の特別展「未来につながる平城宮跡—保存運動のあけぼの—」においてお目にかけてきたところです。それに加え、このたびの企画展では、戦後から現代までの平城宮跡にスポットライトを当てたいと思います。本格的な学術調査によって徐々に姿を現した平城宮跡。奈良文化財研究所における発掘調査の原点のひとつとなりつつも、あまり紹介されたことのなかった第1次調査をはじめ、昭和の初めから発掘調査を続けてきた東大溝(SD2700)の最新調査(第621次調査)に至るまで、成果をトピックとして取り上げるとともに、発掘調査を支えてきたさまざまな分野の専門家集団、奈良文化財研究所の活動についてもご紹介します。平城宮跡という遺跡が、これほどまでに良い状態で現代までのこされてきた背景には、いくつかの“奇跡”の重なりがあります。本展を通して、調査研究・遺跡の保存・活用に多くの人々が汗を流しつつ歩んできた“軌跡”に想いを馳せ、平城宮跡がたどった数奇の運命に触れていただければ幸いです。



多量の木製品が出土した土坑(SK820)出土遺物



東大溝(SD2700)の調査風景(1982年)



平城宮第一次調査風景(1955年)

会期

令和4年10月29日(土)～12月11日(日)

11月14日(月)休館 いざない館開館時間 10:00～18:00(入館は17:30まで)

場所

平城宮跡歴史公園 平城宮いざない館 企画展示室

出品

平城宮跡出土遺物など 約100点

関連
イベント

隼人舞上映会&展示解説 10月29日(土) 14:00～16:00

連絡先

開館情報に関するお問い合わせ 平城宮跡管理センター TEL 0742-36-8780

内容に関するお問い合わせ 奈良文化財研究所 連携推進課 TEL 0742-30-6753



- 平城宮跡歴史公園へは「ぐるっとバス」で(土日祝ダイヤ15分間隔、平日ダイヤ30分間隔で運行/運賃100円)
 - ・近鉄大和西大寺駅南口から「朱雀門ひろば」停留所まで約10分
 - ・近鉄奈良駅から「朱雀門ひろば前」停留所まで約13分
- JR奈良駅西口から路線バス学園前駅行きにて「朱雀門ひろば前」停留所まで約11分

主催 独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所

後援 文化庁、国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所、平城宮跡管理センター、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、平城京再生プロジェクト、朝日新聞社、近畿日本鉄道株式会社、奈良交通株式会社



平城宮跡資料館
HPはこちら



平城宮跡資料館
公式Twitterはこちら



平城宮跡歴史公園
Nara Palace Site Historical Park